

パルス式

充電をする時、電流を常時流すのではなく断続的に流し効率を上げる方式。

充電回路により自己放電電流を補う電流値を充電する時 (定格容量の約20%)
充電ON(例1秒)、充電OFF(例約170秒)とパルス充電を行う。

特徴: 充電回路がやや高価であるがトリクル充電方式に比較して長寿命化が可能になります。

